

有名高等学校 訪問レポート 独立行政法人 国立高等専門学校機構 津山工業高等専門学校 紹介

津山工業高等専門学校（以下、津山高専）は、創造力のある実践的技術を教育目標

に掲げ、1963年に創立された伝統ある工業高専です。今回は、津山事務局の西村がお話を伺ってきました。対応してくださったのは情報工学科教授の岡田副校長と学生課の土屋先生です。



習を受けることができます。卒業後、さらに高度な学習を希望する学生には、津山高専をはじめとする各高専の専攻科への進学や、岡山大学・広島大学などの総合大学、豊橋及び長岡の技術科学大学など、主に国公立大学の第三次に編入学することができます。さらに専攻科の修了者は、工学士の学位を取得でき、大学院への入学資格を得ることができま

す。今回は、津山事務局の西村がお話を伺ってきました。対応してくださったのは情報工学科教授の岡田副校長と学生課の土屋先生です。

Q 津山高専と言えば、就職に非常に強いイメージがあるのですが。

A 本校に対する社会の期待の大きさがわかるといえます。求人倍率は常に十数倍を超えています。十九年度は三十倍を超えました。専攻科の卒業生は現在二十倍以上です。

Q まさに即戦力の育成の賜物ですね。とはいえ、一概に高専＝就職、というわけでもないですね。

A 博士号を持つ教授陣が授業を担当しており、入学時から質の高い学



習を受けることができます。卒業後、さらに高度な学習を希望する学生には、津山高専をはじめとする各高専の専攻科への進学や、岡山大学・広島大学などの総合大学、豊橋及び長岡の技術科学大学など、主に国公立大学の第三次に編入学することができます。さらに専攻科の修了者は、工学士の学位を取得でき、大学院への入学資格を得ることができま

Q なるほど、就職・進学ともさまざまに可能性が用意されているんですね。先程から度々お話に出てくる専攻科について教えてください。

A 専攻科とは、高専での五年間の課程卒業者を対象に、より深く教育研究を行えるように設けられた二年間の課程です。平成九年から、機械・制御シ

ステム工学専攻と電子・情報システム工学専攻の二専攻が設置されました。指導教員の

下で二年間研究を行い、学会発表も可能な高いレベルの研究活動を行っています。大学に比べ学費の面でも経済的負担が軽いことも特徴です。また、津山地域の企業で校外学習を行っており、より実用的な技術体験をしています。

Q 研究室に籠って研究の毎日…というわけではないのですか。

A 各種のクラブ活動も盛んに行われています。また、地域との交流や国際交流にも力を入れています。

Q 地域との交流と云えば、岡山県域の小学校・中学校で出前授業を行っていますか。

A 先ほど説明したように地元の企業では研修という意味で体験学習を行っています。一方で地域教育にも貢献しています。ロケットエンジンを搭載したロケットの打ち上げや、レゴブロックを使ったサッカーロボットなど、小・中学生を対象にした授業を行っています。

近年は子ども達の数学・理科離れが問題になっています。早いうちに楽しい科学に触れることで、子どもが数学や理科を好きにな



ってけると嬉しいですね。

Q 私もそのような授業を受けていたら理数系がもっと好きになつたかもしれません。また、学生のための設備も充実していますか。

A 図書館はもちろん、最新のコンピュータ機器を揃えた総合情報センター、機械加工の実習工場、学生や保護者の相談に教員やカウンセラーが対応する総合支援室などを設置しています。遠方の学生には寮も用意しており、在学生の四〇％は寮生です。女子寮もありますので、女子の学生も安心して利用できます。

Q 最後に、受験生へのメッセージをお願いします。

A 近年は理数離れが進んでいると言われますが、社会にとって理系の技術者は必要不可欠な存在です。まずは技術者への志を強く持ち、向上心のある人を歓迎します。もの作りに興味があることも重要ですが、何よりもチャレンジ精神や協調性があり、社会の発展に貢献したいと考えている人は、ぜひ津山高専を受験してください。



Q ありがとうございます。